

第30回「新型コロナウイルスについて」

国が示した対策について、賀来満夫教授によると、「換気の悪い密室」、「多くの人の密集」、「近距離での会話や発声」を避ける「3密」を明示した国は、当初日本以外なく、その効果は大きいだろうとしています。また、立川夏夫医師によると、治療薬はアビガンなど4種類の薬を組み合わせることで効果があったと言っています（いずれも4月初めの日本経済新聞による）。国の取り組みは完璧とは言えないまでも、世界の主要国比、感染者数、死亡者は圧倒的に少ないという事実は直視する必要があると思います。

さて、「緊急事態宣言」は、少しずつ緩和されていますが、今後、第二、第三の波が襲ってくる可能性はあり、決して油断はできません。町内の観光・飲食業界は、大きな被害を受けております。そうした中、テークアウト商品に活路を見いだそうと皆さん必死です。この業界の方々は、都会のお客さまから、非常においしいと以前から高い評価を受けておりました。町内の皆さん、ぜひご協力をお願いします。

私は町長として、新型コロナウイルス災害を目の当たりにし、今後の松崎町はどうあるべきかをあらゆる角度から検討しております。これまでのように、観光だけではいけない。何としても外の経済変動に左右されにくい体質の町にしなければいけない。それには、桜葉などを中心とした物づくりが欠かせないのではと感じております。松崎町の歴史・文化・景観をベースに、特長ある農業を展開されている方々をさらにひと押しする。これらを実行することによってより良い観光につなげ、外貨を稼げる町を構築できないかと模索しております。